

## 「ひろしまブランド」の価値向上に向けた取組について

令和3年5月13日  
ブランド・コミュニケーション戦略チーム

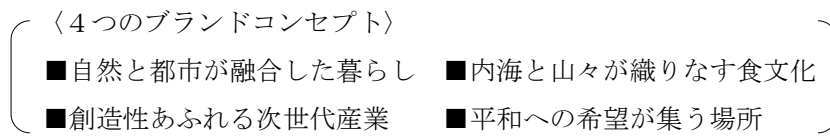
### 1 趣旨

- 現在の少子・高齢化による人口構造の変化や、東京一極集中に起因する若年層を中心とした社会減など、地方を取り巻く環境が大きく変化していく中であっても、将来にわたり、「ひろしま」が県内外の皆様から支持され選ばれ続けることが必要であることから、昨年度策定した「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」に「ひろしまブランドの強化」を位置付けて取組を推進していくこととしている。
- これまでの「ひろしまブランド」の取組を深化させるためには、「ひろしま」に関わる多様な主体が一体となって、「ひろしま」の価値を創り発信していくことが重要であることから、県民をはじめ、市町、企業・団体等の意見を伺いながら、「ひろしまブランド」の価値向上への理解と共感の獲得に努める。

### 2 「ひろしまブランド」のこれまでの取組と課題

#### (1) これまでの取組

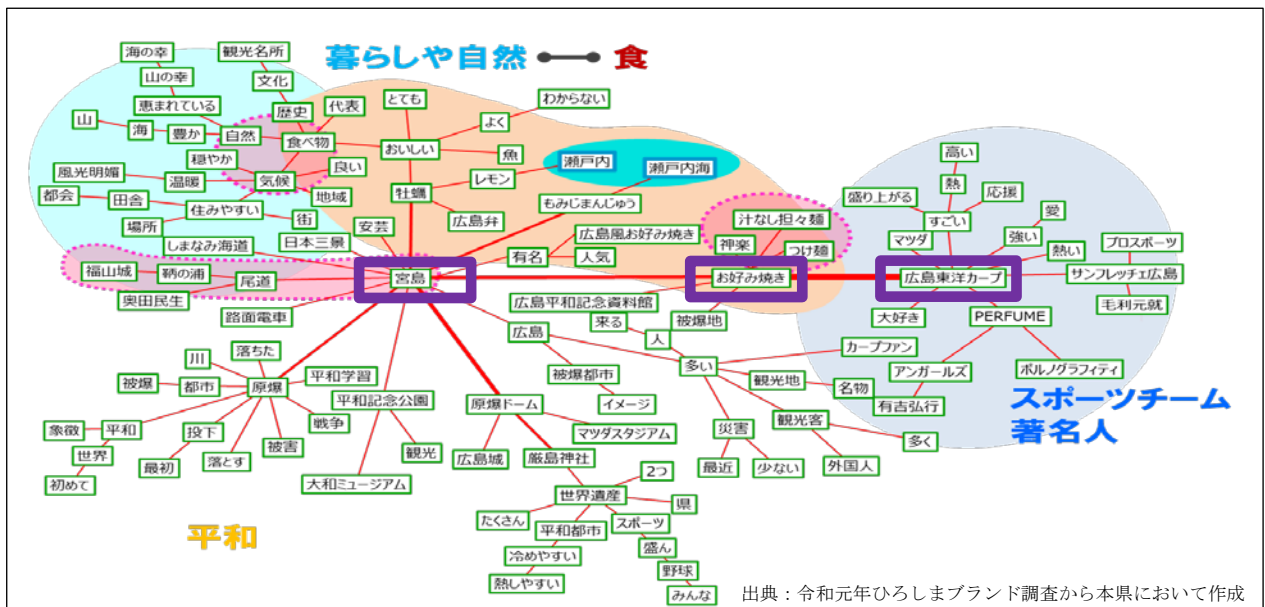
本県では、平成26年2月に「ひろしまブランドの価値向上に向けた取組方針」を定め、「ひろしま」の魅力を表す4つのブランドコンセプトに沿って地域の魅力創出や発信に取り組んできた結果、観光消費額や移住者世帯数の増加等、一定の成果につながっている。



#### (2) 課題

「ひろしま」の観光地、特産品等個々の魅力的な資産が認知されているものの、4つのコンセプトに沿ったブランドイメージが定着していない。〈下図参照〉

〈図：広島県民の「ひろしま」に対する連想構造〉



### 3 「ひろしまブランド」の価値向上に向けて

- 「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に基づき、全ての分野で「ひろしま」のブランディングを意識した取組を進めることで、県民の皆様に広島の強みを再認識していただき、県民の誇りにつなげるとともに、国内外からの共感の獲得につなげる。
- 多様な主体と一体となって「ひろしまブランド」の価値向上に取り組むため、県内外の皆様に「ひろしま」がどのように見られたら、評価・評判が高まるのかを「ひろしまの見られたい姿」として取りまとめるとともに、「ひろしま」の中心的な価値を明確にし、理解・共感を獲得していくことで、一貫した価値創出と価値発信につなげていく。

ひろしまの見られたい姿（案）	
中心的な価値	平和への想いと行動，穏やかな風土は，ひろしまの元気を育み，すべての人へ，明日へ向かうエネルギーをもたらします。
中心的な価値へ導く要素	<p>ひろしまは，元気あふれるところです。 困難に直面しても，たくましく乗り越えていきます。 ひろしまの復興と活躍には，世界中の人々が注目し，勇気づけられています。 先人たちの開拓者精神は，今なお，県民に脈々と受け継がれ，多岐に渡ってつながりを創り，産業やスポーツ・文化に活気を生み出しています。</p> <p>ひろしまは，美味しさの宝庫です。 海の幸にも，山の幸にも恵まれたひろしまには，まだまだ知られていない風土と歴史に育まれた豊かな食文化があります。 大地を味わう山の食。その豊穡な山々の栄養が川を伝い注がれた，海の食。 瀬戸内の穏やかな気候も，活力と至福を届けます。</p> <p>ひろしまは，暮らしやすさをつくります。 ヒスイ色の穏やかな海と四季を魅せる山々。隣接する快適で開放的な都市機能。 この恵まれた環境は，人々の知を結集させ，さまざまな価値を創出します。 職・住・遊を同時に充実させることができる豊かな暮らしと 多様な人々が活躍するひろしまのダイバーシティは，次の日本のかたちです。</p>

### 4 今後のスケジュール

- 「ひろしまブランド未来会議」の参加者や企業・団体など，多様な主体との意見交換を，様々な機会を捉えて実施し，「ひろしまブランド」の価値向上への理解と共感の獲得に努める。
- 年度内を目途に，「ひろしまの見られたい姿」を確定させ，一貫した価値創出と価値発信につなげていく。

#### 〈「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」における「ひろしまブランドの強化」の一部抜粋〉

本県には，ヒスイ色の穏やかな瀬戸内海，新緑や白銀に輝く中国山地，これらの豊かな自然がもたらす山の幸やその豊穡な山々の栄養が運ばれ育まれた海の幸といった多彩でおいしい食があります。

また，ものづくり技術の集積や，交通・流通の要衝として，いつの時代においても未来を切り拓いてきた多様な産業を有し，心身が癒される豊かな自然と都市機能が近接した暮らしやすさが楽しめます。

さらに，平和への想いや，先人から受け継がれるチャレンジ精神は，様々な分野で活力を生み出し，国内外の人々を元気づけています。

こうした本県独自の資産を，広島に集まる国内外の多様な力を生かして磨き上げ，その価値を発信することで，更に評価され，ブランド価値が高まる好循環を創出していきます。